

平成30年度 学校だより最終号

# こやのせだより

30年度目標 “

「あきらめない！」  
少しを、次々と、時間内に  
「できるを重ねる」

かくれたチカラを引きだそう”

自信

平成31年3月22日  
北九州市立木屋瀬小学校  
校長 瀧上正彦

## 学年末アンケート集計結果

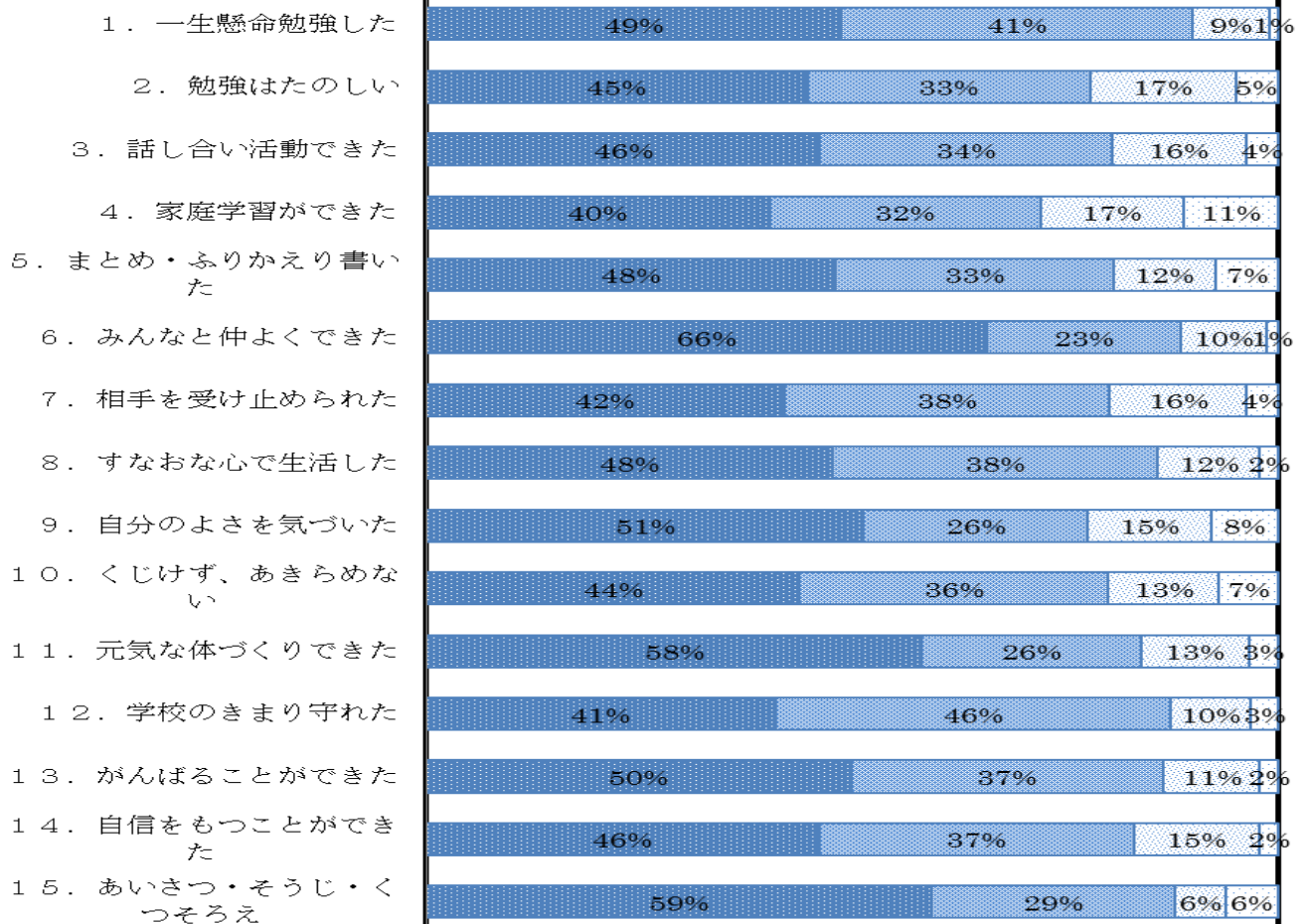
春暖の候、保護者の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのことと存じます

本校は、「自ら考え、心豊かで、たくましい子どもの育成」を学校教育目標にして、今年度子どもたちの「かくれたチカラ」を引き出すために、「あきらめず」、「できるを重ねる」ことを重点目標に取り組んで参りました。今年一年を振り返り、年度末に児童、保護者、教師アンケートの集計結果をまとめましたのでお知らせいたします。

### 1. 子どもの自己評価

#### 平成30年度児童自己評価

■とても ■まあまあ ■あまり ■全く



子どもたちの自己評価を、「よくできた」「まあまあできた」を「できた」にまとめ、上位から並べると、「1. 一生懸命勉強した90%」、「6.みんなとなかよくできた89%」、「15.挨拶・掃除・靴揃えを意識して実行した88%」「12.きまり守った87%」となっています。

4月から学校全体で「大切にしよう」と呼びかけてきた学習や対人スキル、きまりなど、子どもたち

や保護者の皆様が1年間一生懸命努力してくれたのでしょう。大変嬉しく思いました。来年度は、身に付けたこの力をベースにして、ますます成長してほしいと願います。

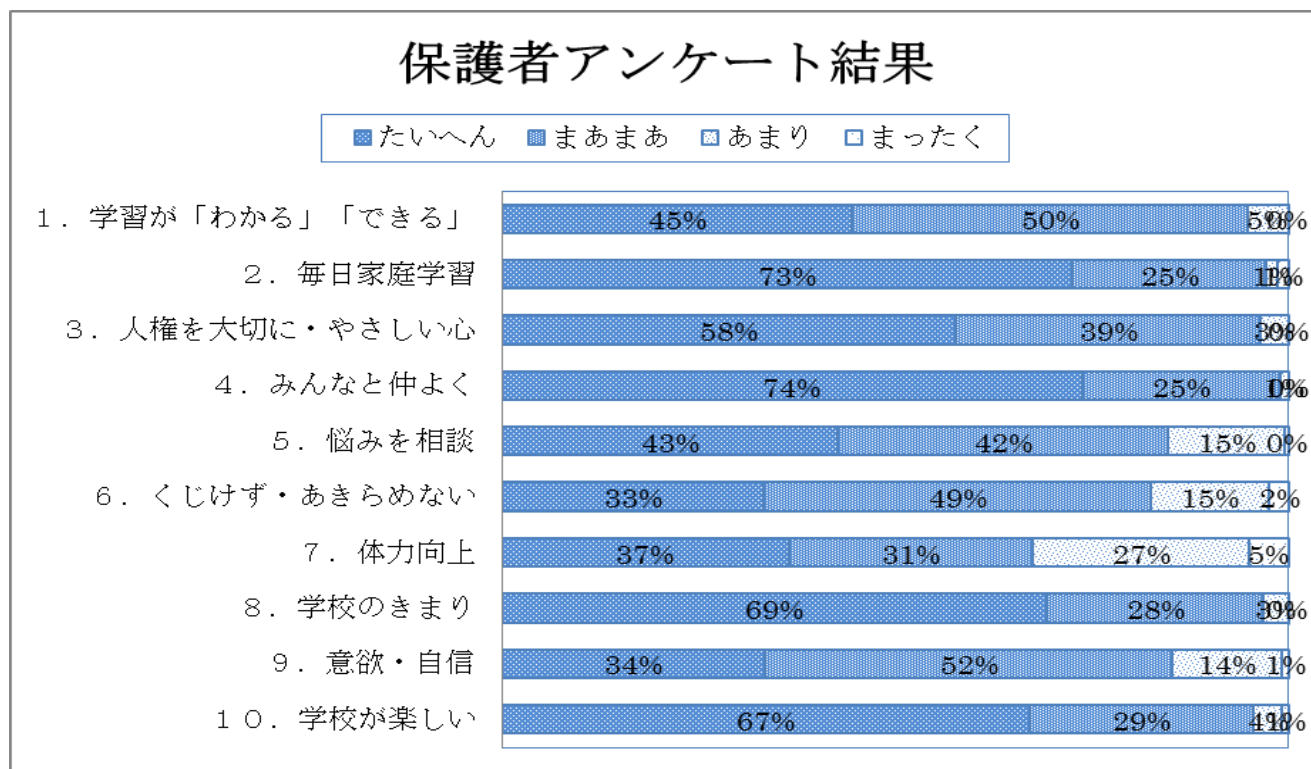
一方、下位の項目に目を向けると、「4.家庭学習ができなかった 28%」「9.自分の良さに気付かなかった 23%」「10.くじけない・あきらめないができなかった 20%」となっています。

これらは全て「学力向上」という課題とつながっています。「自分の良さに気付く」「くじけない、あきらめない」「自信をもつ」は、毎日の学習が「できる」という自信の積み重ねによって「学習が楽しい」「やればできる」という意欲につながり、「もっとがんばろう」となるからです。

学ぶための姿勢や態度は育ってきています。今後は、学校では「自信をもたせる授業改革」、家庭では「家庭学習時間の増」が課題です。スマホやテレビの時間を、読書や自主学習の時間に変えていくことをご家庭でも取り組んでいただくと助かります。

ランドセルの中をいっしょに見ることはありますか？子どもの学習ノートをいっしょに見て、「今どんな勉強しているの?」「面白そうね、いっしょに調べてみようか」など、学習内容を話題にしたり、スマホやテレビを消して皆で読書タイムをしたりして、子どもと保護者が少しでもいっしょに学習する機会を増やすと、子どもの学習意欲はぐんと上昇するでしょう。ご協力をお願いします。

## 2 保護者自己評価



保護者のアンケートでは、「できた」「まあまあできた」を合わせて上位の項目は、「4.みんなとなかよく 99%」「2.毎日家庭学習 98%」「3.人権意識・優しい心 97%」「8.学校のきまり 97%」「10.学校が楽しい 96%」「1.学習が分かる・できる 95%」と、90%を超える高い自己評価となっています。なかでも「大変よくできた」の項目が、「4.みんなとなかよく 74%」「2.毎日家庭学習 73%」となっています。

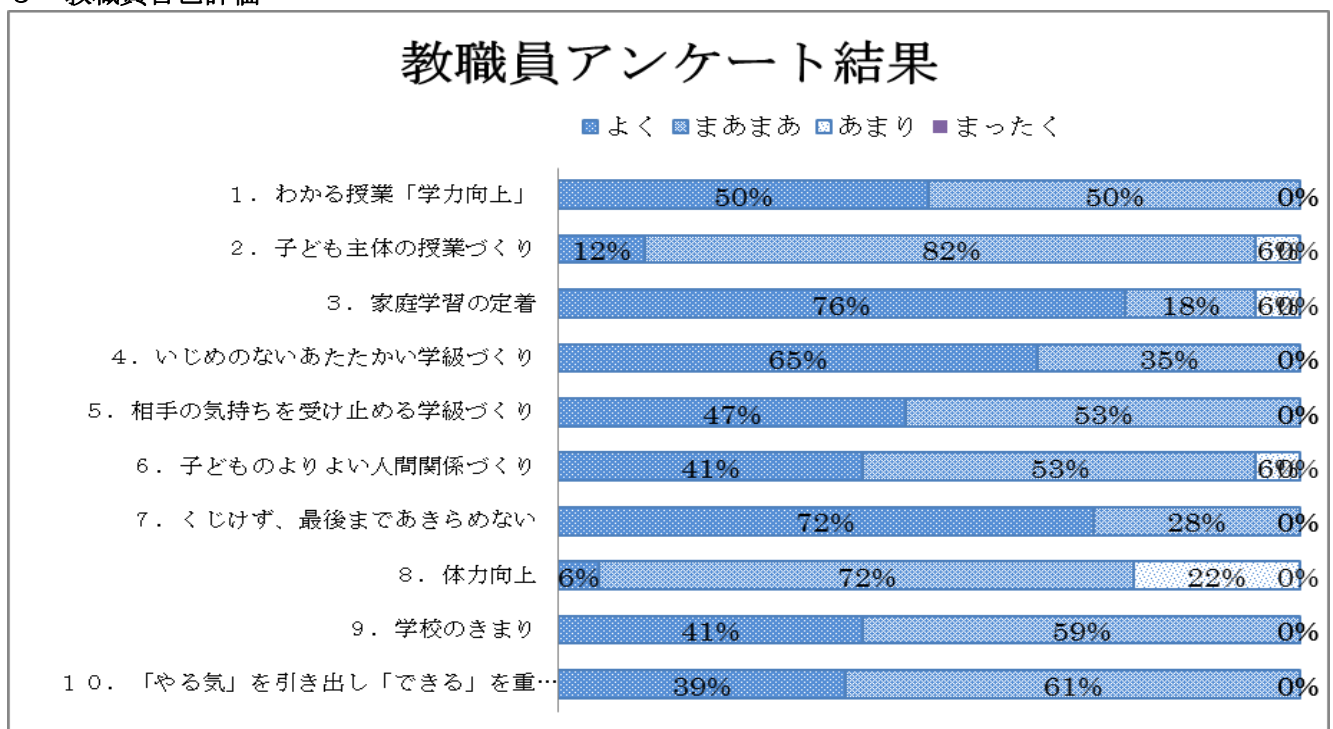
ご家庭でも友達との接し方を話題にさせていただいていることが伝わってきます。人権意識の高い、優

しい子どもたちが育っています。学校の様子が分からないと保護者の方も不安になり、攻撃性を増す言葉「やられたらやり返せ」「なめられるな」などを発しがちです。「相手の子はどう思っているのかな」「あなたは嫌なことしていない？」と一度は問い返すことによって、カッとならず人間関係を円滑に運べるような子どもが育ちます。学校としても、今後も情報の発信に努めたいと思います。

また、家庭学習については、保護者の方が子どもたちに一生懸命働きかけて下さっていることが伝わってきました。毎月一週間の「生活がんばりカード」を上手に利用していただくとよいなと感じました。

一方で、「できなかった」と答えた項目が、「7.体力向上 32%」「6.くじけず・あきらめない 17%」「5.悩みの相談 15%」「9.意欲・自信 15%」ありました。児童の欄でも述べましたが、学力や体力の向上によって自信をつけさせることについては、来年度の大きな課題です。具体的な対策を講じたいと考えています。

### 3 教職員自己評価



教職員の自己評価は、「できた」「まあまあできた」合わせて100%の項目が、5つあります。

「1.わかる授業『学力向上』」「4.いじめのない温かい学級づくり」「5.相手の気持ちを受け止める学級づくり」「9.学校のきまり」「10.やる気を引き出し、できるを重ねる」です。

特に、「4.くじけずあきらめない」では、72%が「とてもがんばった」と高い自己評価をしています。今年度の重点課題「できるを重ねる」を職員が共通理解して取り組んだことが分かります。また、月に1度「対人スキル」を取り入れて児童間の人間関係の向上に取り組むことも共通理解して進んでいると思います。

ただ、児童のアンケートで子どもたちが低く答えているところもあります。特に、自信や意欲の項目が低い児童がまだ多くいるという結果には真摯に向き合わないといけません。もっと子どもに自信をつけさせることができるよう、日々の授業の中で「できる」と実感をもたせることが必要です。来年度は、「1時間の授業で自信をもたせる授業改革」を行うことを軸として具体的な対策を講じていきたいと思っています。

また、教師のアンケートで「できなかった」が多かったのが「8.体力向上 22%」です。体力向上については、来年度が小体連陸上記録会開催の最後の年に当たります。今後を見据えて、学校でも体力向上の行事等の見直しを行っていきたいと思います。

#### 4 学校評議員会

3月18日（月）13:30より学校評議員会を行い今年度の学校教育に対するご意見を伺いました。

##### 学校評議員の皆様からのアドバイス

- 学校がよくやってくれていることが分かる。
- 保護者のクレーム等が少ない地区と聞いて安心した。
- 上級生が下級生に優しい。小さな子をかばう様子が見られる。
- 立ち止まっての挨拶がとても感じが良い。
- 向こうを向いているときでも、のぞきこんで挨拶をしてくれる。
- 上級生ほど挨拶が良くできている。
- 子どもたちが生き生きとしている。
- 子どもたちが学校に行くのが楽しいと言っている。カレーライスの日やプログラミングなどがあり、学校みんなで鬼ごっこしたと言っていた。すばらしいですね。
- 0歳から20歳までは、細胞が増える時期である。しっかり食べさせて、運動させて、その後しっかりと力を発揮できるように体力を蓄えさせなくてはダメです。
- アンケートを取ってくれるのがありがたい。学校は頑張っている。
- 保護者は子どものうちに片付けや整頓ができるように育ててほしい。
- 大きくなったら、相談・実行・報告ができる大人にシなくてはならない。
- 気配り、目配り、言葉配りが大事。
- おはよう、ありがとう、きちんと言葉で言わせることが大切。

人生の先輩方が、学校の今年度の取り組みや来年度の構想についてのアドバイスだけでなく、子育てについて大切なことまで教えて下さいました。ありがとうございました。

素晴らしい子どもたちは、素晴らしい地域の方々が生きて下さっていることを改めて認識しました。1年間ありがとうございました。

最後になりましたが、1年間保護者の皆様の温かいご支援ありがとうございました。お陰様で無事一年間を結ぶことができました。

1年間ご理解、ご協力ありがとうございました。